

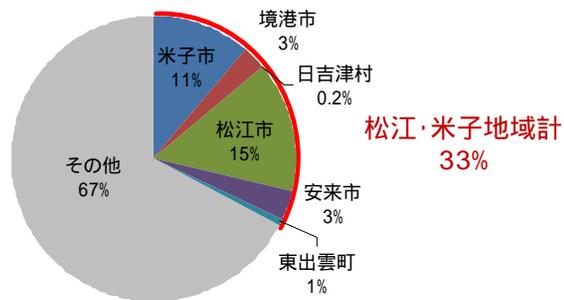
21世紀生活圈研究会 試行的調査(松江・米子地域)

中国地方整備局
平成20年12月16日

松江・米子地域の現状(人口)

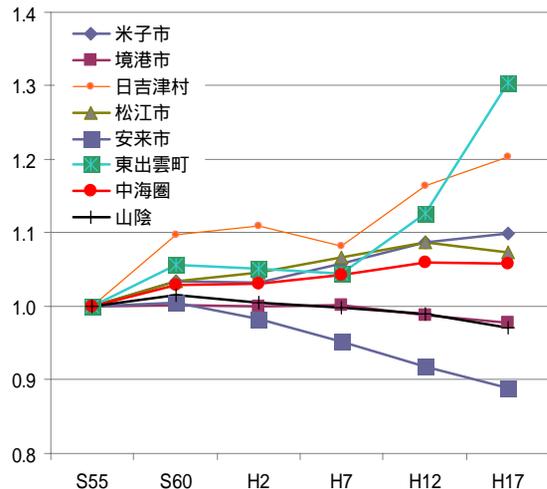
- ・松江・米子地域の人口は山陰地方の1 / 3を占め、山陰の中核を担っている。
- ・東出雲町では、高速道路の開通によりIC周辺が開発され人口が増加しているものの、松江・米子地域全体では伸びは止まっている。
- ・H17の松江・米子地域の高齢化率は広島、岡山、倉敷都市圏よりも高く、福山都市圏と同程度の水準。

山陰地方における松江・米子地域の総人口の割合(H17)



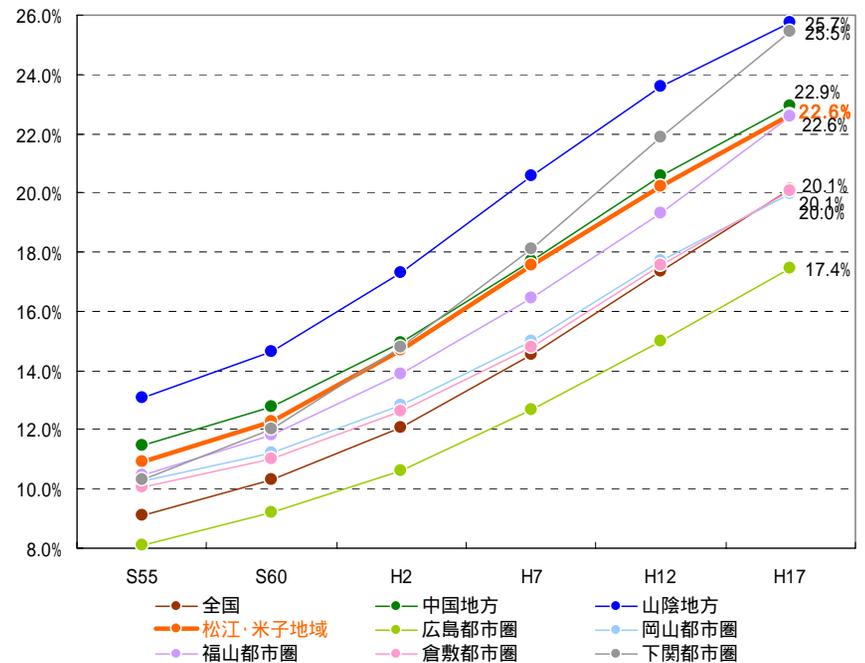
資料 / 国勢調査

松江・米子地域の総人口の伸び率(S55=1とした場合)



資料 / 国勢調査

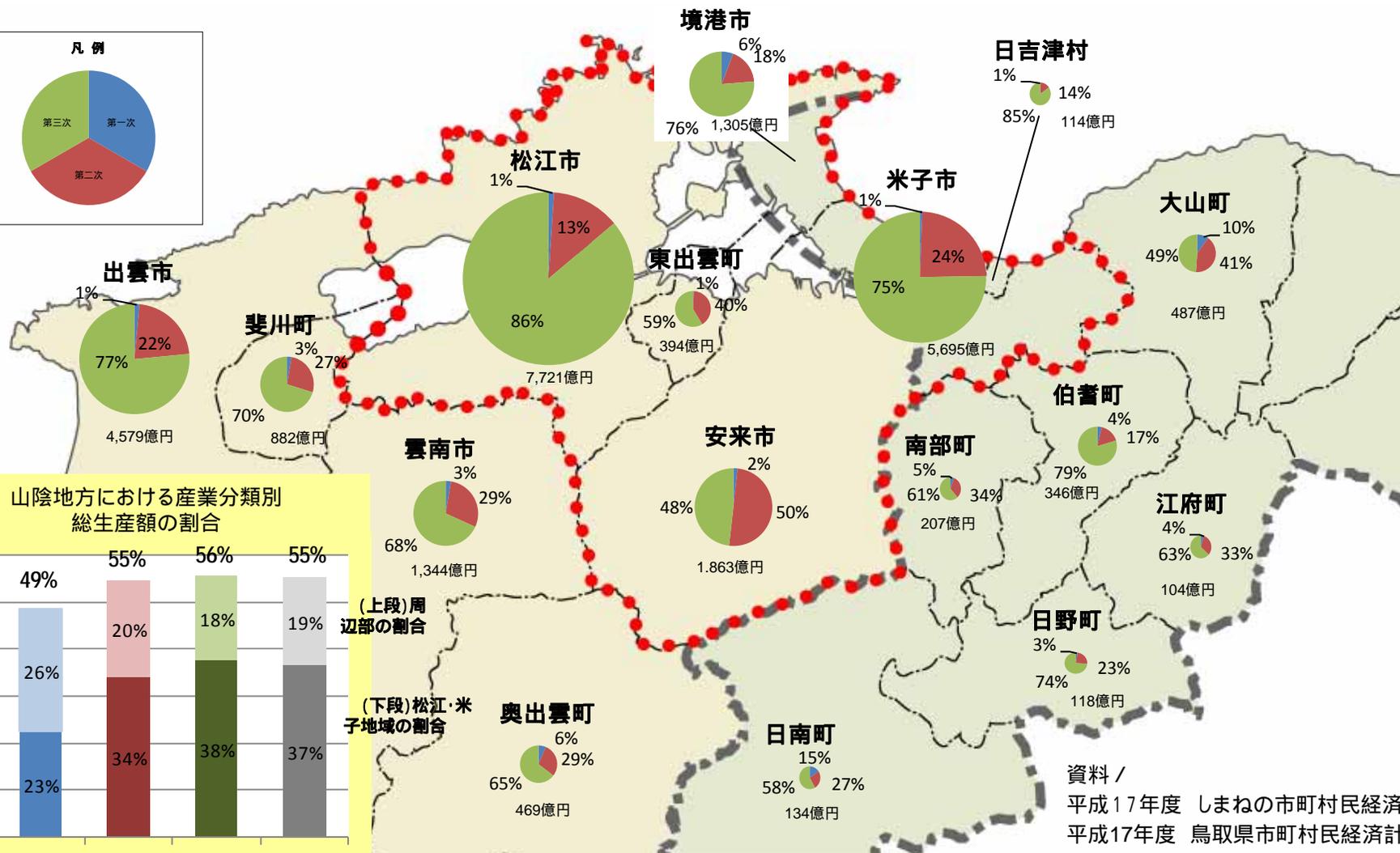
中国地域での地域別高齢化率の推移



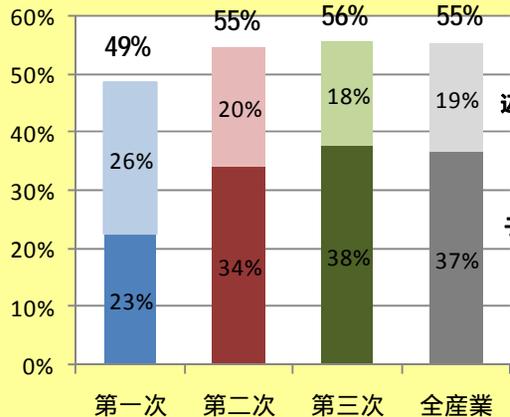
資料 / 国勢調査

松江・米子地域の現状(産業構造)

- ・山陰地方における松江米子地域の全産業の総生産額の割合は36%、周辺部も含めると55%に達する。
- ・当該地域を市町村別にみると、松江市は第三次産業の割合が高い。また、安来市、東出雲町は第二次産業、境港市は一次産業(水産業)に特徴がみられる。



山陰地方における産業分類別総生産額の割合

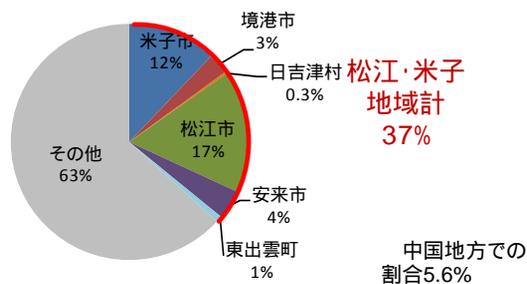


資料 / 平成17年度 しまねの市町村民経済計算 平成17年度 鳥取県市町村民経済計算

松江・米子地域の現状(産業・経済状況)

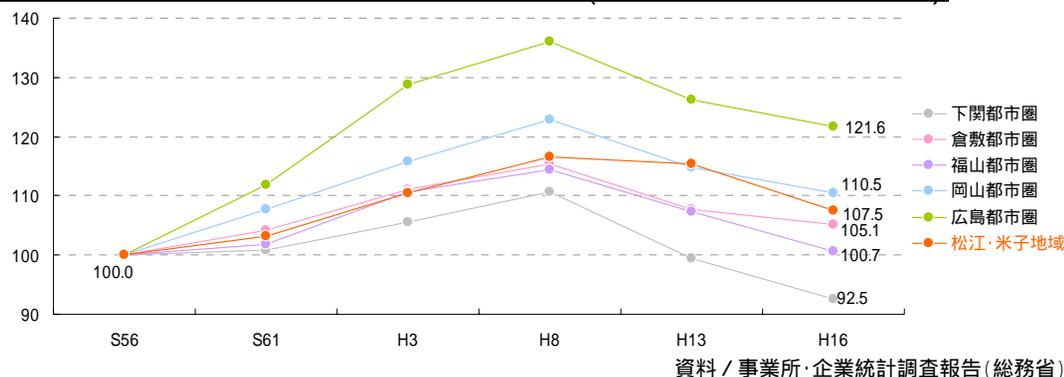
- ・市町村内総生産(産業面)、年間商品販売額(経済面)とも山陰地方の1 / 3程度を占めており、ポテンシャルを有している。
- ・従業者数は、他都市圏と同様にH8にピークを迎え、その後減少傾向を示している。
- ・中国地方での年間商品販売額(小売業)は広島に次ぐ水準を維持しており、他都市圏と同様な推移を示している。

山陰地方における松江・米子地域の市町村内総生産額の割合(H17)

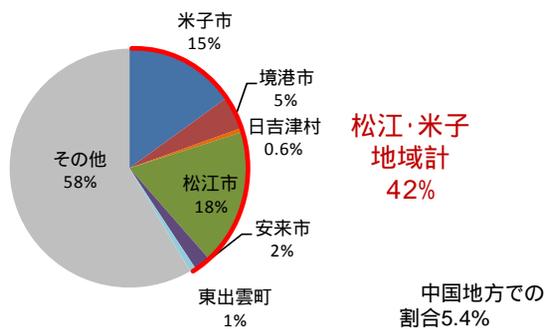


資料 / 市町村民経済計算(各県)

中国地方での地域別従業者数の推移(S56=100とした場合)

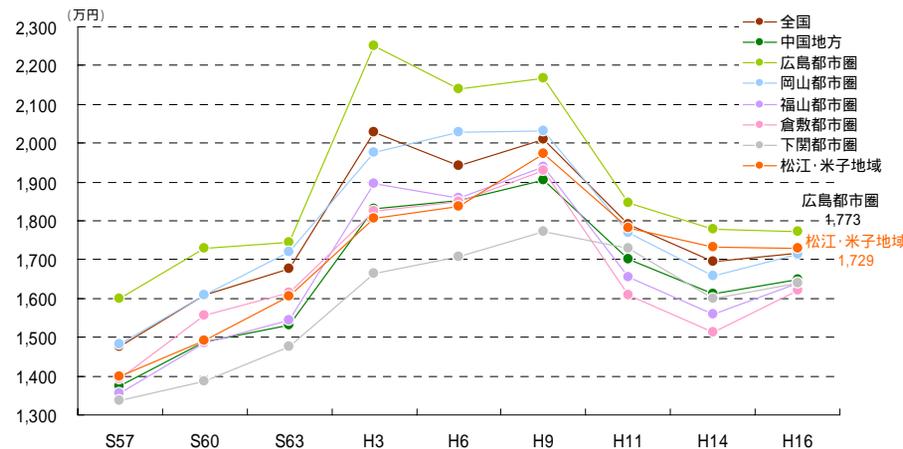


山陰地方における松江・米子地域の商品販売額の割合(H16)



資料 / 商業統計調査(経済産業省)

中国地方での地域別従業者1人あたりの年間商品販売額(小売業)の推移



松江・米子地域の現状 (交通流動)

・松江・米子地域は山陰でも高い交通流動を示しているが、各所で渋滞などが生じ産業や観光にも影響を及ぼしている。

山陰地方の市町村別自動車交通量

松江・米子地域

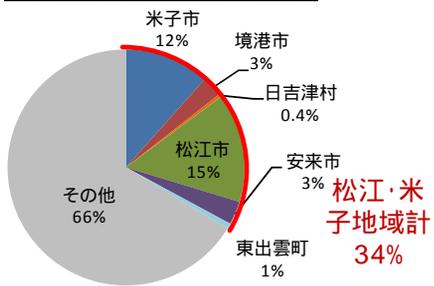


(単位:1000T.E)
資料 / H17道路交通センサス

松江・米子地域の交通基盤



山陰地方における松江・米子地域の自動車交通量の割合



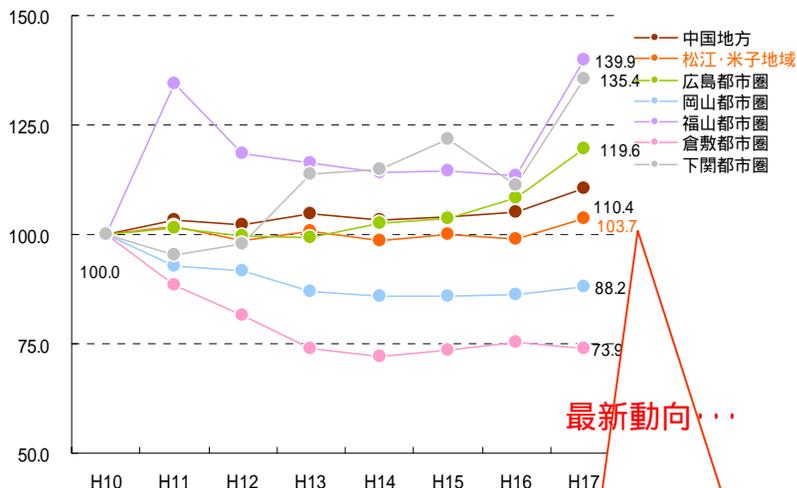
松江・米子地域の交通量は山陰地方の1/3と大きな割合を占める。

資料 / H17道路交通センサス

松江・米子地域の現状(観光客数)

- ・最近は、ブームにより松江・米子地域の伸び率は増加しているが今後は低下減少に転じるおそれもある。
- ・松江・米子地域のH17観光入込客数(延べ数)は1400万人をこえる。中国地方の観光入込客数の11%(人口比は6%)に相当し、高い観光集客力を誇っている。
- ・中国地方での宿泊人数は他の都市圏と比較し、松江・米子地域の人数が多い。

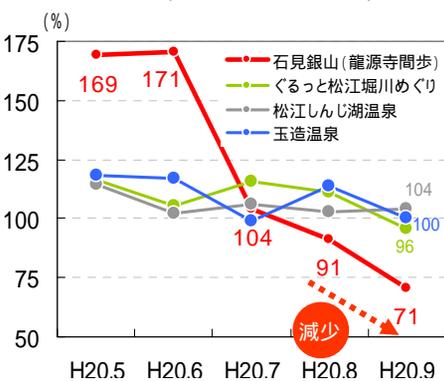
中国地方での地域別宿泊観光入込み客数(延べ数)の比較(H10=100とした場合)



最新動向...

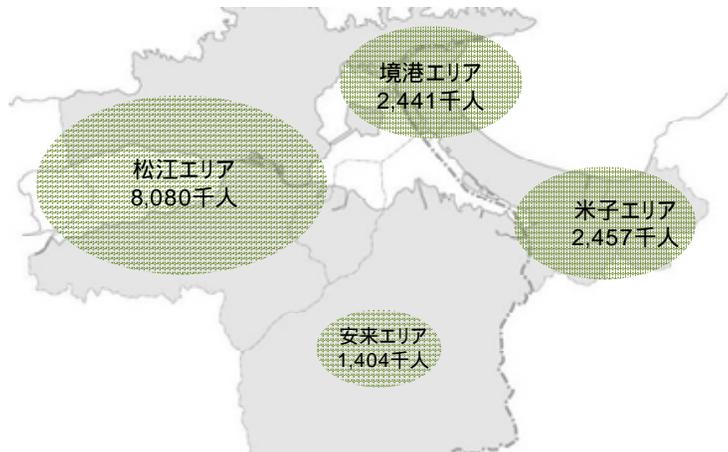
松江・米子地域の米子市、境港市については実数にて計算
資料 / 各県観光動態調査結果より作成

石見銀山と松江・米子地域観光施設の入り込み客数-前年同月比(前年同月を100とする)



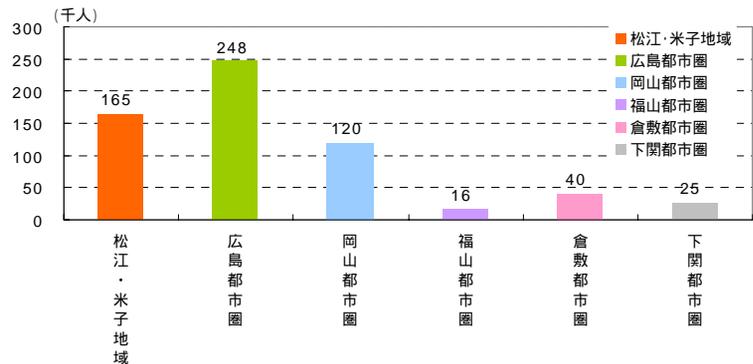
H20.8より石見銀山の観光客数に減少の傾向がみられるようになり、隣接する松江・米子地域への影響が懸念される。

エリア別観光入込客数(延べ人数;H17)



資料 / 鳥取県・島根県「観光動態調査結果(H17)」

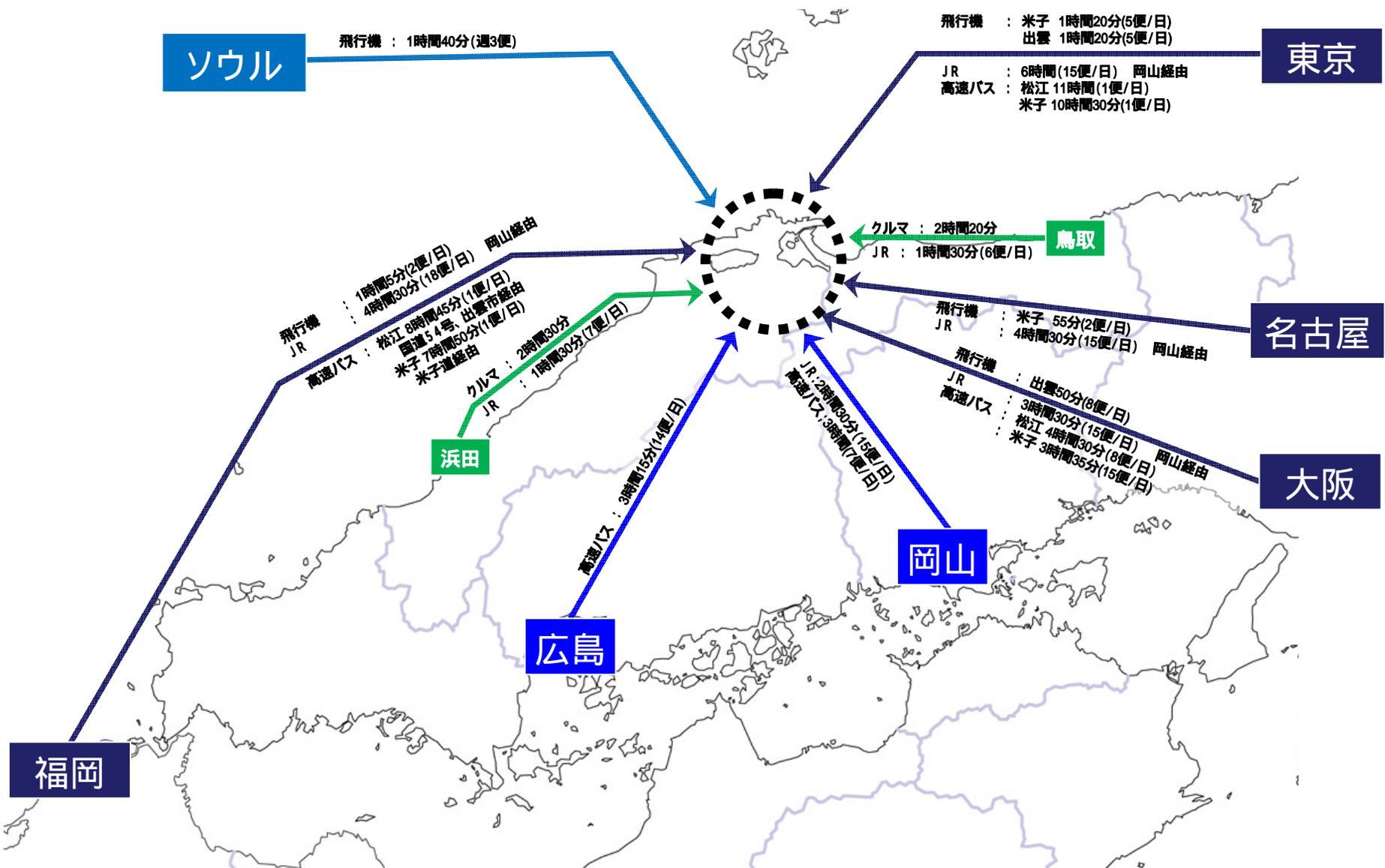
中国地方での地域別宿泊人数の比較(H17)



都市圏区分と同白書の地域区分との対応は以下の通りである。
宍道湖・松江・米子地域・・・「米子・皆生」「松江」「玉造」の合計、岡山都市圏・・・「岡山」「鷺羽山・玉野」の合計、広島都市圏・・・「広島」「宮島」、福山都市圏・・・「尾道」、倉敷都市圏・・・「倉敷」、下関都市圏・・・「下関」

松江・米子地域の現状(交通アクセス)

・国外からはソウルから米子空港への週3便のみ、広島、鳥取から松江・米子地域へは高速道路が一部未整備の区間が存在し、交通アクセスが不便になっている。



松江・米子地域の現状 (医療・救急体制)

- ・人口あたりの医師数は、中国地方の他の都市圏の中でも比較的多い。
- ・三次救急医療機関へは松江市北東部、安来市南部などの郊外部ではアクセスが不十分な地域が多い。

医療機関別提供体制

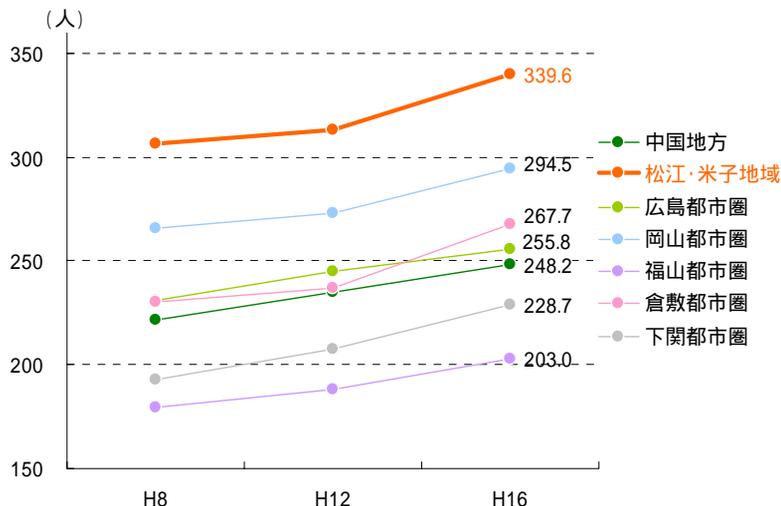


三次救急医療機関までの所要時間圏域図



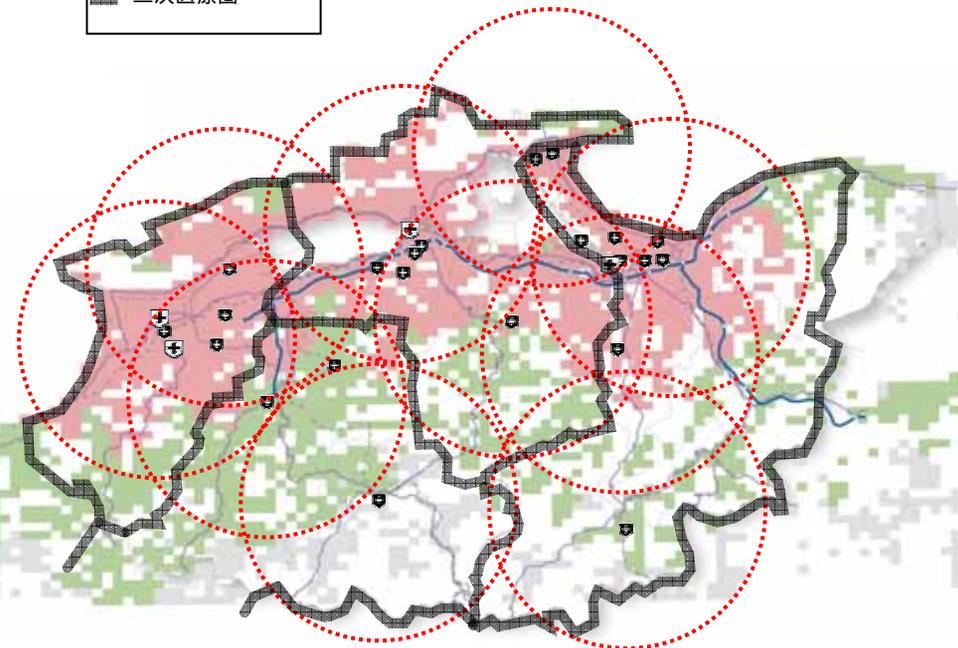
三次救急医療機関の30分圏域は市街地に集中し、北部地域や県境付近ではアクセスは不十分であるが、二次救急医療機関への所要時間はおよそ30分でカバーされている。

中国地方での地域別人口10万人あたりの医師数の推移



平成8年と平成16年の人口は、平成7年と平成17年の数値を用いた

資料 / 医師・歯科医師・薬剤師調査 (厚生労働省)、国勢調査 (総務省)



所要時間はH17道路交通センサス混雑時旅行速度より算出

松江・米子地域の現状(医療・救急体制)

- ・地域内で連携を図りながら、効果的な消防救急体制の確立が必要。
- ・地方病院は専門医が不足しており、病院間連携による専門医派遣の取り組みが必要となっている。
- ・松江・米子地域から山陽よりの周辺部では山陽側への通院や救急搬送がみられる。

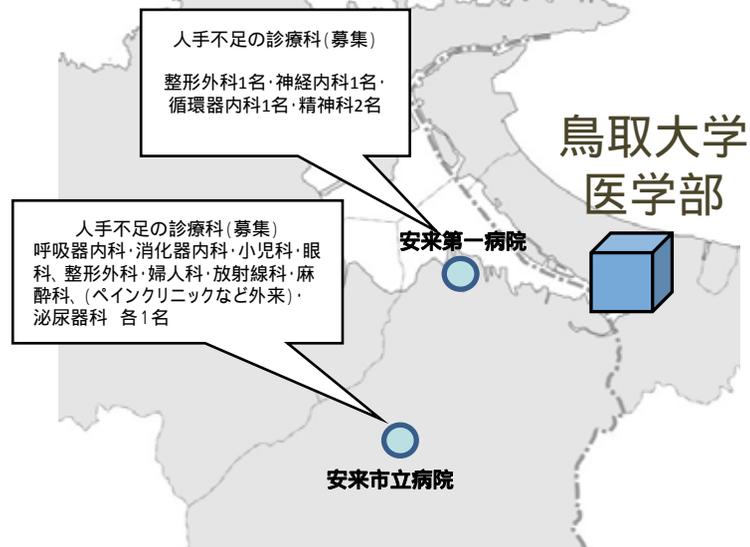
救急救命車(高規格)の配置台数



地方病院は専門医が不足

(現在、医師不足の中、各病院で医師の確保が難しくなっており、**病院間連携による専門医派遣の取り組みが必要**となっている。また、高齢者が増える中、高度で専門的な検査や手術を必要とされる人が増大し、周辺部から鳥取大学医学部など大きな病院を利用する人が増えることが想定される。このため、今後、**大きな病院への交通アクセス対策**がますます必要となる。)

安来市の病院で 医師を募集している病院



旧赤来町から市立三次中央病院への 外来患者、入院患者数(H13)



資料 / H20年版消防年報(松江市消防本部)、H19年版消防年報(鳥取県西部広域行政管理組合)

雲南消防本部から市立三次中央病院への 救急搬送人員(H18)



資料 / 鳥取県健康福祉部医療対策課 医師確保対策室HP

外来患者数: 5900人/年
入院患者数: 3500人/年
延べ人数

資料 / 市立三次中央病院より

公立三次中央病院へ
70人/年搬送

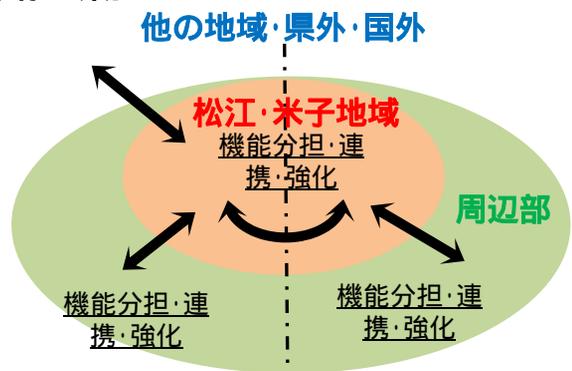
資料 / 雲南消防本部より

位置図

松江・米子地域



【将来像の案】



当地域の視点

・観光を軸とした経済・産業面等からの視点

・市民の生活サービス面からの視点

調査フロー

地域の現状と課題

・松江・米子地域および周辺部の現状・課題および未来予想
・松江・米子地域の強み

課題に関連する各種データの裏付けとデータに基づく新たな課題の抽出

既存統計資料等によるデータ分析
(既存統計資料等・都市機能の分布状況・地域の将来計画)
実態調査によるデータ分析
(生活実態や観光実態調査など)
など

将来像の設定

・松江・米子地域および周辺部を含めた将来像や役割の設定
・将来目標値の設定

転換方策の立案および具体策の検討

・将来像に向けた方策立案
・具体策の検討

効果の検証

・施策実施による効果予測

松江
米子
地域の
現状と
課題

石見銀山ブームもピークを迎え、今後の観光も収束の兆し

石見銀山効果も収束し、松江・米子地域への波及効果も弱まりつつある中、今後の人口減少とともに観光市場の縮小が懸念される

海外とのアクセスインフラを地域に有するものの、外国からの観光客数の停滞

外国人観光客数、滞在日数・消費額の低さ

増大する高齢者や身障者需要に対応した観光サービス(移動支援、情報などの支援)が不十分

観光バリアフリーへの対応(ハード・ソフト)が遅れている

行政境の壁に阻害される生活利便性や地域振興

生活や経済的な圏域と行政区域が不一致(施設利用、路線バスの運行、企業・観光誘致活動の連携など)

全国より先行する人口減少と高齢化

生活の足を支える公共交通の衰退、高齢化対応型になっていない交通システム

産業経済の低迷が続き、若い労働力の県外流出と厳しい雇用情勢

雇用の問題(失業率の高さ、学生の地元就職離れ)

仕入れ等を県外へ依存する経済構造(域内マネーの県外流出)

中心市街地は衰退

事業所の廃業率が高い(開業率は低い)、事業所数は減少傾向

自治体の財政危機、病院等公共施設の赤字経営・サービス低下

アジアゲートとして競争力の低迷

国際貿易港「境港」の利用低迷、米子空港の利用率の低迷

活発な人流・物流を阻害する道路交通事情

割高な交通費・物流コスト(航空運賃、貨物料金など)

道幅も狭くすれ違い困難な幹線道路も存在



このままだと

将来

山陰における松江・米子地域の吸引力・魅力度が低下し、人口流出が加速、観光来訪者減、労働力(生産性)やサービス低下、企業の撤退や廃業

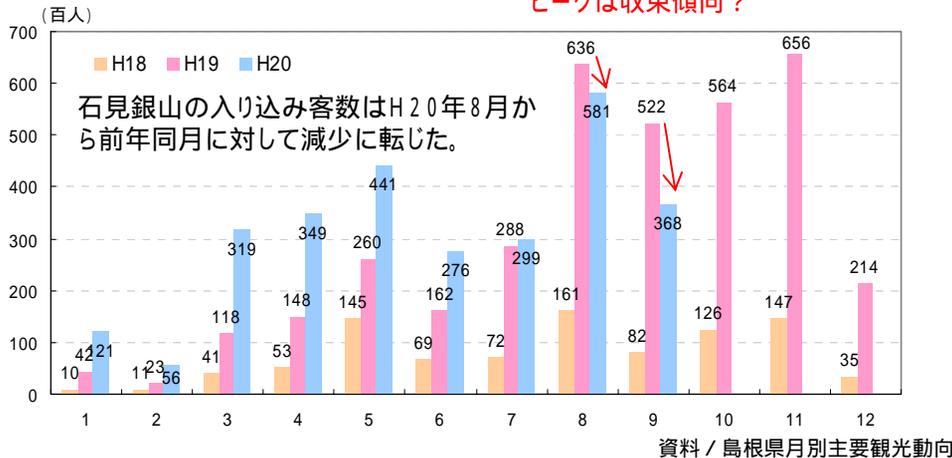
自治体の更なる財政圧迫、各種生活サービス(医療福祉、交通等)が低下

魅力なく暮らしにくい地域へ転落、住民が誇りに思わない地域へ 更なる人口減を加速

石見銀山ブームもピークを迎え、今後の観光も収束の兆し

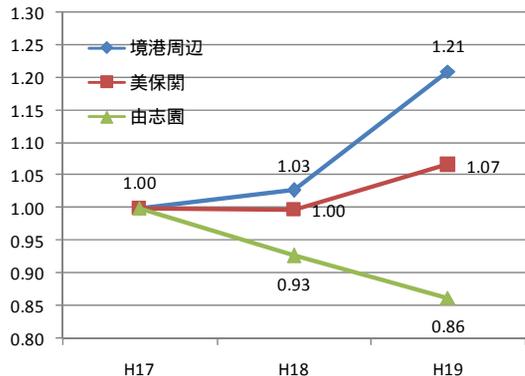
石見銀山効果も収束し、松江・米子地域への波及効果も弱まりつつある中、今後の人口減少とともに観光市場の縮小が懸念される

石見銀山(龍源寺間歩)の入り込み客数の推移



観光客数の伸び(H17を基準)

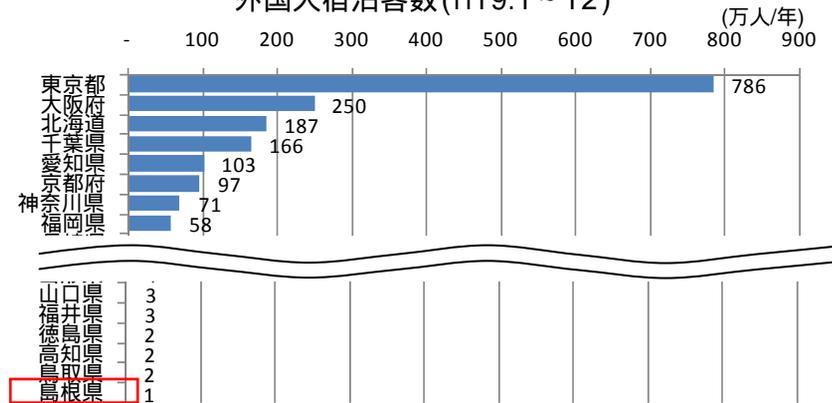
- ・隣接地域で観光客が増える地域と減る地域が存在
- ・観光ブームのかげりにより、伸びているところも減少に転じる可能性あり



資料 / 島根県観光動態調査、鳥取県観光客入込動態調査

海外とのアクセスインフラを地域に有するものの、外国からの観光客数の停滞

外国人宿泊客数(H19.1~12)



増大する高齢者や身障者需要に対応した観光サービス(移動支援、情報などの支援)が不十分
観光バリアフリーへの対応(ハード・ソフト)がこれからの課題

高齢化社会の進展に伴い、高齢者や障害者等の観光需要の増大に対応した観光バリアフリー化の重要性が増大

公共交通機関のバリアフリー化にこわえ、旅のバリアフリー情報の提供や旅先での介助の仕組み等の環境づくりが急務

一般市民の皆様、地方自治体及び交通・観光関係者に、交通・観光のバリアフリーについて理解を深めてもらうためセミナーなどの取り組みが始まっている



資料 / 中国運輸局 記者発表資料

行政境の壁に阻害される生活利便性や地域振興
生活や経済的な圏域と行政エリアが不一致（施設利用、路線バスの運行、企業・観光誘致活動の連携など）

現在、普通科高校の受験では、例えば安来市から同一県の松江市の高校には校区外受験できるが、鳥取県の米子市の高校は受験できない。



< 行政コスト縮減 >

各自治体の現計画の事業費・維持費と
地域連携による既存施設有効利用による事業費・維持費の削減



行政コスト縮減

県境越え「下水道」連携に向け協議

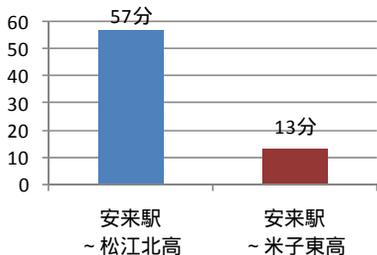
安来市東端で下水道が未整備になっている同市吉佐町の生活排水を米子市の下水道施設に接続して処理してもらうよう申し入れた。

安来市は米子市が現在、同市西端の陰田町で下水道整備を進めていることを踏まえ、米子市の下水道施設につなげば、早く安上がりに整備できると判断した。具体的には、吉佐町内の下水管整備を安来市で進め、排水処理を米子市に委託する方法を想定している。

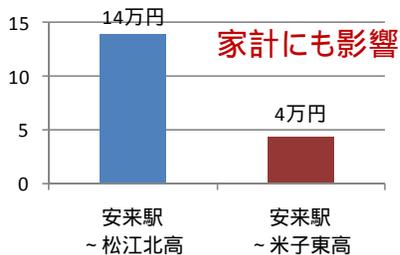
米子市は「中海圏の連携は重要だと思っている。技術的な課題はあるが、前向きに検討したい」としている。

山陰中央新報(H20.11.19)記事より

安来駅から高校までの所要時間

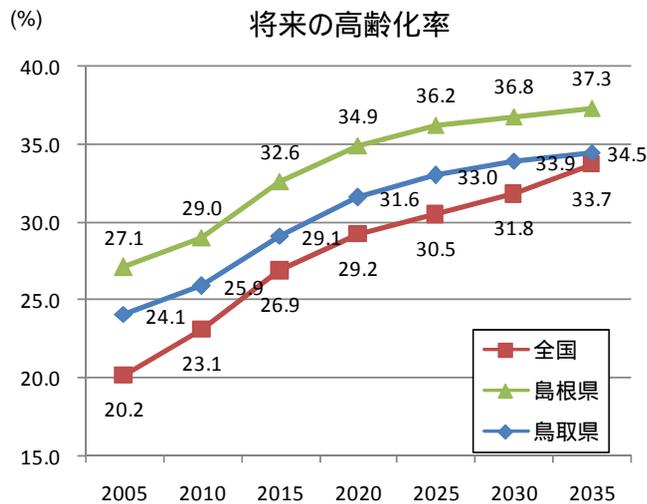
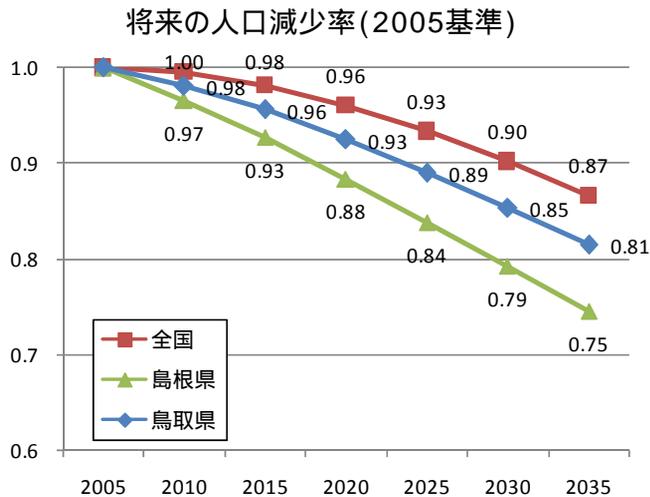


安来駅から高校までの年間通学代



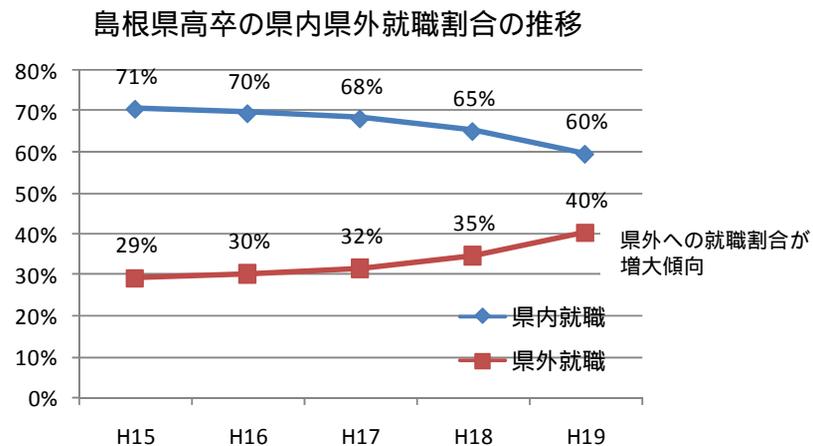
1;年間通学代は通学定期(6か月)の2倍で算出
2;松江北高はJR(安来~松江駅)+バス(松江駅~小泉八雲前)、米子東高はJR(安来~米子駅)

全国より先行する人口減少と高齢化



資料 / 『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)
国立社会保障・人口問題研究所

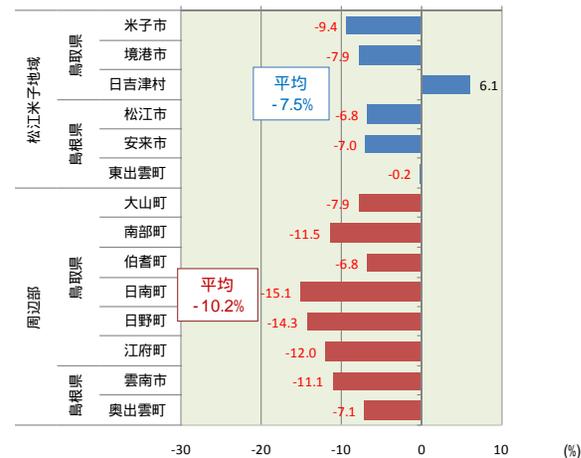
産業経済の低迷が続き、若い労働力の県外流出と厳しい雇用情勢



資料 / 島根県 学校関係統計表

事業所数の減少率(H13 H18)

事業所数の減少率大きい。

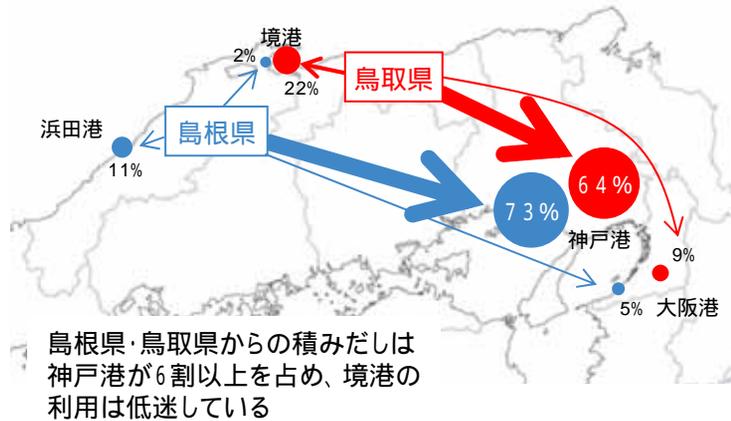


資料 / 事業所企業統計調査(H18)

アジアゲートとして競争力の低迷
国際貿易港「境港」の利用低迷、米子空港の利用率の低迷

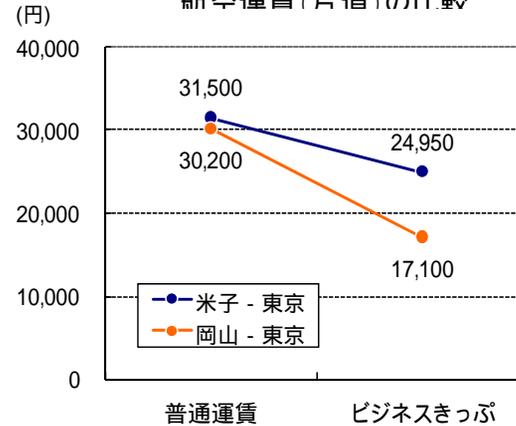
活発な人流・物流を阻害する道路交通事情
割高な交通費・物流コスト（航空運賃、貨物料金など）
道幅も狭くすれ違い困難な幹線道路も存在

島根県・鳥取県を出発する海上貨物の積出港 金額ベース比(H19.9)



資料 / 神戸税関HP

航空運賃(片道)の比較



資料 / 全日空HP

米子ソウル便の搭乗率

4 - 6月で3ヶ月連続70%割れ
韓国内の政情不安により、日本人の韓国旅行者が減少

国道432号 安来市広瀬町



大型車離合が難しい
幹線道路が残る

松江
米子
地域
周辺部
の
現状
と
課題

人口減少の歯止めのかからない周辺部と超高齢社会
 少子高齢化が急速に進展、若者の流出
 過疎化、限界集落問題の顕在化
 農業の担い手不足、耕作放棄地区の拡大、自然景観の破壊

松江・米子地域に集中した生活・経済構造
 経済面、生活面(通学、医療など)で松江・米子地域に集中しており移動が不便で交流に支障
 脆弱な経済基盤、財政事情

気象、地形条件が厳しく不便を強いられる生活環境
 増大する高齢者等の交通弱者への生活交通基盤が不十分
 近年、H12鳥取西部地震、H18豪雨災害、H18豪雪災害など災害が多発しており、多くの孤立集落が発生



将来

各地で人口減と高齢化の進行で、限界集落が激増
 大雪などで集落が孤立、生活インフラの確保が出来ない(屋根の除雪、除草など)
 地域固有の伝統文化や特産品(仁多米、雲州そろばんなど)が消滅。自然を活かした観光などの産業が減少
 耕作放棄などで荒れた田畑や森林が増え、恵まれた自然景観が維持できなくなる。
 公民館、自然公園やキャンプ場等の維持管理が困難。
 近接する都市部へ供給する食料生産の低下と食料の高騰。
 通院・買い物などの生活サービスがフォローできない

松江・米子地域周辺部の現状と課題

人口減少の歯止めのかからない周辺部と超高齢社会
 少子高齢化が急速に進展、若者の流出
 過疎化、限界集落問題の顕在化
 農業の担い手不足、耕作放棄地区の拡大、自然景観の破壊

松江・米子地域に依存した生活・経済構造
 経済面、生活面(通学、医療など)で松江・米子地域に集中しているが移動が不便で交流に支障
 脆弱な経済基盤、財政事情

市町村別75歳以上人口の割合



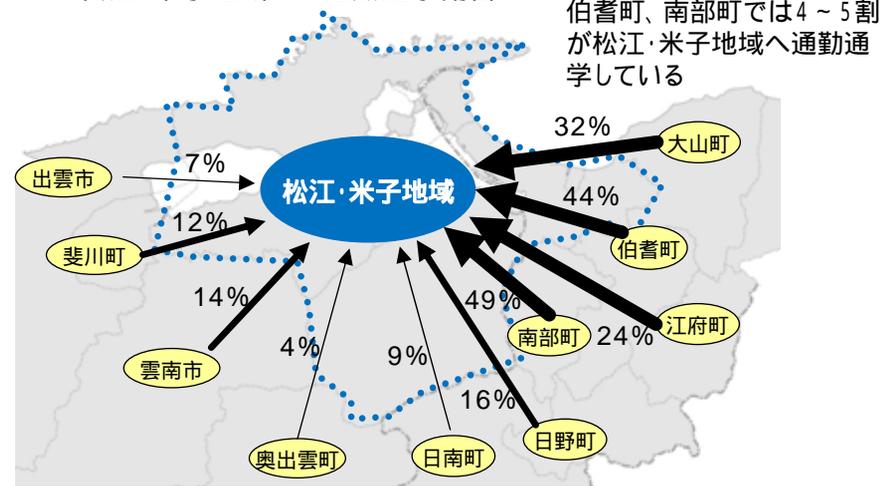
資料 / 平成17年国勢調査 市区町村境界はH12年時点

販売農家の後継者なしの農家数の割合

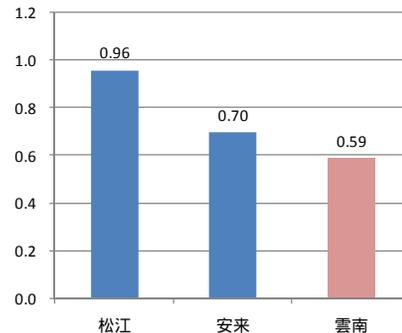


資料 / 2005農林業センサス

松江・米子地域への通勤通学割合



公共職業安定所別有効求人倍率



資料 / 島根の雇用情勢(H20.10)



< 松江・米子地域の強み >

松江・米子地域には様々な地域資源が集積
 山陰の核となる地域(主要都市施設・産業の集積)
 山陰屈指の人口規模(44万人)
 貴重な観光資源や地域資源が豊富に存在(自然、歴史文化、温泉、境港の海産物、宍道湖じじみ、松江和菓子など)

鳥取大学附属病院や松江赤十字病院、市民病院など医療機関の充実、鳥取大学、島根大学、松江・米子高専等の研究・教育機関、山陰唯一の金属加工産業の立地
 日本を代表する企業と技術(金属加工、コンピュータ PROGRAM-Ruby、氷温技術)

全国、世界に繋がる交通インフラの存在
 大陸に近い地理的優位性、東京大阪や海外への玄関口となる米子空港や境港(FAZ)など交通拠点が存在
 米子自動車道や山陰道など高速交通ネットワークに接続

地域一体化をバックアップする行政や民間の連携の機運が高まっている
 中海市長会の発足
 観光圏の認定と取組み など

< 地域周辺部の強み >

豊かな自然環境
 農林水産資源の宝庫、都市への食材供給地域
 恵まれた自然環境
 貴重な歴史文化
 グリーンツーリズム、エコツーリズム、田舎ツーリズムなどの取り組み、産業体験事業、交流事業が定着



田舎ツーリズム

